

## ジャンボタニシをドローンで防除

～スマート農業で防除作業を省力化～

夷隅農業事務所改良普及課 令和3年5月18日発

いすみ市では、ジャンボタニシによる水稻被害に対し、「ジャンボタニシ緊急対策事業」（16.1ha）の活用などにより、地域ぐるみで被害低減に取り組んでいるところです。現在、防除薬剤の散布は、田植同時散布器や背負い式動噴等が主流ですが、今回、新たな散布方法を検討するため、4月22日と5月7日、同市部田地区で、ドローンによる薬剤散布の実演会が開催されました。

当日は、ドローンメーカーからの説明の後、薬剤散布の実演が行われ1haの水田に対しての散布時間は、薬剤の積込等を含めて45分程でした。参加農家からは、「背負い式動噴に比べ、散布ムラがなく、省力・効率的だ。」との感想が聞かれました。

農業事務所では、ジャンボタニシの防除対策を徹底するとともに、他の病害虫防除も含めたスマート農業技術を推進していきます。



薬剤散布中のドローン



粒剤を8kgまで積載可能